

## 議 事 録

会 議 名	平成26年度第3回寒川町総合計画審議会	
開催日時	平成27年3月26日(木) 9:30~11:00	
開催場所	寒川町民センター3階 講義室	
出席者名、 欠席者名及 び傍聴者数	(委 員) 飯田 誠(会長)、佐藤一夫(会長職務代理者)、吉田悟朗、山田政博、 小栗裕治、藤井明男、佐藤 清、熊澤 茂、谷村秀次、島村 繁、 鈴木 茂  (欠席者) 鈴木宏文、杉山孝一、牧野ゆり子、平本正子、鈴木重徳	
	(事務局) 企画政策課 企画行革担当  石井宏明(部長)、深澤文武(課長)、青木裕昭(企画行革担当主査)、吉田慎也 (企画行革担当主任主事)、三澤忠広(企画行革担当主任主事)、鈴木俊輔 (企画行革担当主任主事)	
	※傍聴者 2名	
議 題	(1) 寒川町総合計画「さむかわ2020プラン」後期基本計画第2次実施計画(案)について	
決定事項	議事-(1) 寒川町総合計画「さむかわ2020プラン」後期基本計画第2次実施計画(案) について 【事務局から内容説明し、委員から別添のとおり各種意見等あり】	
公開又は 非公開の別	公開	(非公開の場合その理由(一部公開の場合を含む))

<b>1 開会</b> *議事までの間、石井部長が司会進行	
<b>2 議題</b> 〔議事進行：飯田会長〕	
議 事	(1)寒川町総合計画「さむかわ2020プラン」後期基本計画第2次実施計画(案)について
飯田会長	<p>それでは、議題に入ります前に一言ご挨拶申し上げます。</p> <p>本日は、委員の皆様方におかれましては、年度末の折り、ご多忙中にもかかわらず、本審議会にご出席賜り、感謝申し上げます。</p> <p>前回の審議会におきましては、施策評価結果の総括や、第2次実施計画策定の進捗状況についてご意見等をいただいたところでございますが、本日は、前回の施策評価等を踏まえた平成27年度からの3カ年における実施計画(案)について、ご意見等を賜りたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>また、本日は、今年度の最後の審議会であるとともに、委員の皆さまの任期中最後の審議会となります。委員の皆さまにおかれましては、これまでの2年間、丁寧なご審議を頂き、また、貴重なご意見やご提言等を賜りましたこと、会長としてお礼申し上げ、挨拶といたします。本日もよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、3の議題に入らせていただきます。</p> <p>議題(1)「寒川町総合計画さむかわ2020プラン後期基本計画第2次実施計画(案)について」事務局から説明をお願いいたします。</p>
《事務局から、寒川町総合計画「さむかわ2020プラン」後期基本計画第2次実施計画(案)についてについての概要を説明。》	
飯田会長	議題(1)について事務局からの説明が終わりました。質問、ご意見等ありましたらお願いします。
鈴木(茂)委員	<p>基本姿勢の最初の項に「町民との協働によるまちづくりの推進」とあり、自治基本条例推進事業の事業効果が「新たな協働事業数」となっているが、これは非常に大事だと思う。</p> <p>茅ヶ崎、平塚、藤沢など周辺の自治体は住民活動を積極化させる方策を取り入れている。平塚市になぜそうしているのか質問したところ、行政が財政的に厳しいため、行政が行っていることを住民活動をしている団体等に委ねる、或いは補助金を交付するといった形をとっているとの事であった。これは茅ヶ崎市でも同様であった。住民側から具体的な提案をしてもらい、それについて審議し委託するという形を10年程前から周辺自治体では行っているように思う。寒川においてはこの部分は非常に遅れている。周辺の自治体は自治基本条例だけではなく、市民参加条例の様なものを策定し、行政側から住民の活動を積極的に支援している。その事により住民の参画意識を高めている。特に平塚市では、財政的に行き詰まっているため、民間の力等を使って低い経費でまちを良くしていくといった説明を受け、非常に関心した。その辺について町の考え方を教えて貰いたい。</p>
深澤課長	<p>神奈川県各市においては、住民からの提案に基づいて、補助金を交付する形で住民協働を支援するといった事が実施されている。町においても平成27年度は、協働の部分をもっと推進するという事で、モデル事業として最高3年間の補助を実施する事業を新たに立ち上げました。</p> <p>平塚では、財政的に厳しいから地域の人の手を借りるという話でありましたが、基本的には仕事を卸すという事ではないと考えています。町民の方が行政に参画することで、まちづくりをどうするか、行政だけではなく住民も含めた中でどうまちづくりをして進めて行くかが重要であると認識していることからこういった制度を作ったところでございます。こういったことを切っ掛けに更に多くの町民の方に行政に参画して頂きたいと考え、位置付けたところでございます。</p>

鈴木(茂) 委員	<p>この3年間の実施計画の目玉をもっと強調して、この町はもっと変わるんですといった様なメッセージを出して頂きたい。これでは見ても評価項目が少し変わったかなという程度で、もっと町民に行政に参画して貰いたいといったようなメッセージは伝わって来ない。今、求められているのは短期間にいかにこの町が変わるかということであり、その仕掛けを作っていくのは行政の大事な役割だと思う。その部分を要約版のような形で、町はこう変わるといった部分を強調した熱いメッセージを発信して貰いたい。町内には優秀な方が沢山いらっしゃる、退職された後、町に貢献したいと思っているが、そういった参画の場や活動団体等に関する情報が少ない。大胆に言ってしまうと、町民レベルが低い。それをいかに上げていくか、これが町として一番の課題だと私は思っている。「協働のまちづくり」を何年かやっていると、それが全然伝わってこない。能力、意欲のある方は沢山いらっしゃる訳だから、そういった部分をもっとPRして欲しい。</p>
深澤課長	<p>協働のまちづくりは行政としては不可欠の部分だと思っています。そうした中で、積極的に進めて行くという事で、体系の先頭に来ているわけですが、総合計画は5分野から構成されており、見て頂く方によって注目の分野は違うと思っております。行政としては何を仕掛けていくのか、短期の中でどうまちづくりを進めて行くのかが見えてこないというのは、ご指摘の通りであると思っておりますが、どれかを省いて1つだけを強調することは中々出来ないと考えておりますので、ご理解を頂ければと思っております。</p> <p>ただし、今後、地方創生総合戦略を策定する上では、産業、子育てなど国が示す4分野がございます。こちらについてはかなり絞って、どういったまちづくりを進めるのかという事を参画して頂きながら考えてまいりますので、その中で町のメッセージを積極的に発信して行きたいと考えております。</p>
飯田会長	<p>一つの大きな目玉を作って、3年間の方向性を決めたいという事で、そこに町民の意識を集中し、そこに協働という精神で向かっていったらどうかという意見だと思う。漠然とした形ではなく、総合計画の中での目的を決めそれをしっかりと町民に発信するべきだという事だと思う。</p>
鈴木(茂) 委員	<p>正にその通りで、この総合計画を非難しているわけではなく、この3年間、どこに集中するか、一番目玉になる部分はどこかを伝えないとこの冊子を渡されても読む人はいないのではないかと思います。平成27年度からの3年間は町はこうやっていくといったメッセージがないと町民もやりたいけど、何をやったらいいのかわからないとなってしまうと思う。団塊の世代がまだまだ元気なうちにメッセージの発信の仕方を行政側として考えて頂いて、それを上手く利用して貰いたい。</p> <p>それから、そういった想いを集めた方を集めて議論する場を作って、意欲のある人の輪を広げて貰いたい。町民一人一人が町を良くしようという想いを作って行かなければいけないと思う。近隣もそうであるが、この町も都会化したことにより、隣の家の人を知らなければ挨拶もしない、といった状況になっていて、これは一番まずい状況が起きている。これは黙っていても変わらない。行政側として、その仕掛けを出して貰わないと、優秀な方々を有効活用出来ないと思う。</p>

深澤課長	<p>3年間の方向性としましては、資料9ページにある町民アンケート結果により施策タイプIに位置付けられた施策、ここについてしっかりやって行かなければならないと考えております。この中から特に1つの施策、例えば「子育てしやすい町づくり」といった部分を目玉として打ち出していくといった事を仰っているのだと思いますが、ここについては、先ほども説明させて頂いたとおり、様々な角度からの見方がありますので、方向性という事で進めて行きたいと思っております。そこについては、予算の重点配分もあり、そういった部分をどの様に表現して行くかという事になると思っておりますので、そこについては、本日お配りした概要版、こちらについても本編を集約しただけで見にくい部分もあろうかと思っておりますが、こういった概要版を利用して委員ご指摘の部分について対応して行きたいと考えております。</p> <p>また、地域の方々の活用についてでございますが、今、言われた通りでございますが、町長からも机のあるところだけが職場ではない、どんどん外に出るようになっております。職員も地域担当職員という形で各自治会の定例会に出席させて頂いて、色々な話を聞かせて頂いておりますが、言われたような機能は無い状況となっております。各地域で地域特性を活かしたまちづくりをどう進めて行くかという事を議論していかなければならないと思っておりますが、ここについては今後、どの様な仕組み作りをしていくかという事になると思っておりますし、我々も問題意識はもっておりますので、しっかりと研究してなるべく早く動いていきたいと思っております。</p>
鈴木(茂)委員	<p>地方創生総合戦略を来年度中に策定するという事で、そういった中でもA4の用紙1枚にまとめる様な形で、視覚に訴えるような形で是非やって貰いたい。</p> <p>それから、もう一点、地方創生の予算は来年度からつくんですか。</p>
深澤課長	<p>平成26年度の3月補正で既に予算を組んでおりまして、地方消費喚起型と先行型があり、約4,000万円の予算が寒川町に来ております。この補正予算は繰り越しをしております、消費喚起型としてプレミアム商品券の発行を、先行型としては子育て環境等に予算配分をしておりますので、平成27年度から動き出し始めます。ただし、5年間の計画につきましては来年度策定致しますので、今後4つの分野について皆様と計画を作っていく訳でございますので、そこについては平成28年度以降に動き出すことになると思っております。</p>
飯田会長	<p>他にありますか。</p>
谷村委員	<p>資料2の体系図ですが、統合した事業については「見直し内容」に記載があるとの説明でしたが、事業効果を見直したものについては何か分かるように記載があるのですか。</p>
青木主査	<p>事業効果が第1次実施計画と第2次実施計画でどう変わったかとの事でございますが、資料2の左側半分が第1次実施計画の体系図になっており、そちらにも「事業効果」という表頭がございます。そこに記載されている内容が第1次実施計画の事業効果指標でありまして、そのまま右側に進んで頂くと、第2次実施計画の事業効果指標となっておりますので、記載内容が変わっているものについては事業効果を見直したという事になります。</p>
谷村委員	<p>変わったところに印は付いていないということですか。</p>
青木主査	<p>はい。特に変更箇所印等はございません。</p>
谷村委員	<p>事業が統合されて、事業効果が1つになっているもが何カ所もあり、それを見ると、統合したが故に後で評価をする時に分かりにくくなっているものがあるように見受けられます。具体的に言いますと、2ページの下の方の「公共交通充実促進事業」で言いますと、鉄道事業やコミュニティバス、路線バスの事業が1つになっており、事業効果が町民アンケート結果となっておりますが、アンケート結果だけで効果が計れるのかという事であったり、7ページの高齢者福祉の「高齢者生きがいづくり等支援事業」もいくつかの事業がひとつになっているのですが、事業効果が老人クラブ加入者数であったり、設定した指標で事業の効果が本当に計れるのかというものがいくつか見受けられるのですが。この辺はどの様な考えで指標を1つにまとめたのか教えて下さい。</p>

青木主査	<p>ご指摘の部分につきましては、我々も1つの課題として認識しております。先ほども説明致しましたが、事業統合の考え方としては目的が同一若しくは近いものをまとめるという基本的な考え方に基づき事業統合をしてまいりました。具体例にもあがりました公共交通の関係につきましては、第1次実施計画では鉄道対策事業、コミュニティバス運行事業、路線バス充実促進事業と3本の事業があり、事業効果についてもそれぞれ乗客数等を指標に持っておりました。ただ、目的はあくまでも公共交通の充実であるという事から事業統合したところでございますが、正に今ご指摘の部分については、統合する事によって見えにくくなってしまっているのではないかと、という危惧は我々事務局側も持っております。ただ、事務事業評価についてはこれからも毎年行いますので、そういった中でこれまで通り各々についての状況を細かく確認して参りたいと考えております。</p>
谷村委員	<p>事業効果は1つでなければならいと決まっていますか。</p>
青木主査	<p>事業効果は1つでなければいけないとの決まりはございません。事例で申しますと、資料1の47ページに下水道整備事業がございますが、こちらは事業効果を2つ持たせております。事業統合を行ったうえで、大きなテーマが2つ出たものを1つの事業効果にするのは問題があるであろうという事で、そういったものについては分けて効果を持たせているという形にしてございます。</p>
谷村委員	<p>統合したことにより効果が計りにくくなった部分があるのであれば、今仰ったように事業効果を分ける等、しっかりと効果が計れる形をとって頂きたいと思えます。</p>
青木主査	<p>はい。</p>
飯田会長	<p>他にご意見ございますか。</p>
小栗委員	<p>資料3の捲った右側のページですが、寒川町の色々な資料を見させてもらうと、特徴的なのが理念の様な言葉が非常に多いということだと思います。「優しさと 輝きとうるおいのあるまち」の「やさしさ」とは何か、「輝き」とは何か、その辺が曖昧すぎて、あまりにも概念的な事が書かれすぎていて、よく分からなくなってしまう。いくら総合計画だといっても、具体性がある程度見えるような、例えば重点プロジェクトの部分だけでも良いのではないかと思う。計画なので概念的なものを否定はしませんが、これは使い方がどうなのだろうと感じます。</p> <p>それから、資料1の16ページにもありますけど、財政を考えた時に歳入が今後増える方向ではないことは分かります。それは逆に言うと、同時にどうやって増やしていくかを考えなければならない事でもあるとは思いますが、人口も減少する中では歳入も減るんだろうと思います。それだけに、事業についても選択と集中が重要になって来ると思います。町長はよく選択と集中という言葉が使われますが、私もそうするべきだと思います。その部分を考えた時に、この計画の中で何を選択して、何を集中して、何を切ったのかというところが分かりにくい。資料2のところでも309事業が222事業になったとの説明がありましたが、パッと見たときに項目は減ったが内容は変わっていない様に感じた。項目が減った分、1つの項目に削った項目が追加されるわけですから。これで職員の時間数がどれだけ減るのか、数字で見ているのかについて教えて頂きたい。</p>

深澤課長	<p>概要版に関する事でございますが、「まちづくり」というフレーズが沢山出てきますが、各パート毎に意味がある訳でございますが、あまりにも「まちづくり」が多すぎて意味が分からないとのお指摘でございますので、ここについてはもう少し簡素化して、どういったまちづくりを目指すのかを分かり易い形で表現出来ればと思いますので工夫していきたいと思っております。</p> <p>また、財政計画の部分ですが、ご指摘の通り、人口減少社会に突入したなかで、町税についても人口減少比率を見込んで減額幅を見込んでいるところでございますが、実効性のある計画とするためにかなり厳しい目線で見ていることは間違いございません。見込みより入ってくるだろうと思っておりますが、その部分をどう時勢に合わせて配分していくのかという所だと思っております。事業統合したものの、2本の事業を1本にまとめただけのご指摘もございましたが、多くはないですが廃止した事業もございます。そこについては、まとめることで意味を成すという部分もございます。やはり、選択と集中という中では、取捨選択になりますので、切るものは切る、捨てるものはそこに重点配分をかけるという事になると思っております。これから地方創生が始まることにより、その辺のメリハリが更についてくると思っておりますので、事務事業評価等の結果をみて、査定の中でも十分に注意を払って参りたいと考えおります。</p> <p>それから、職員の時間数でございますが、取捨選択で切った部分もございしますが、基本的には変わらないと思っております。ただ、現在、第6次行政改革プランを進めておまして、その中で今後アウトソーシングを進めて行くこととなります。そういった部分を使って時間的な余裕を作り、その時間をこの先の戦略的なまちづくりについて研究する時間に充てていきたいと考えております。</p>
小栗委員	<p>1点目の言葉の話ですが、先ほども言ったように、概念的な言葉を否定する訳ではありませんが、あまりにも「まちづくり」が多すぎるので分かり易くして頂きたいと思っております。特に重点プロジェクトの部分を集中的に挙げて行くのが宜しいのではないかと思います。</p> <p>それから、行革の話が出ましたけれども、行革と総合計画はリンクしてくる部分が沢山あるのではないかと思います。業務委託をするといった話がありましたが、委託することは良いと思っておりますが、委託をしたから効率性が良くなり、コストが下がるのかという所についてはしっかりと見ていかないと、総量が一緒で委託するのであればコストはあまり変わらないと思っております。委託した部分をどうするのかという事を考えて行かないとコストは下がって行かないと思っております。行政ですから、コストだけではないことは良く分かっておりますが、この中には地方創生に関する事は具体的に出てきていませんが、今後、国に補助金が大きく付く事業も恐らく出てくると思っておりますので、財政難だからやりませんといった内容は良くないと思っております。お金は国が出してくれる部分もあるし、我々町民が増やしていく部分もあるので、その辺を頭の片隅に入れながら、選択と集中をよく考えて欲しいと思っております。具体的な話で、これから新幹線の新駅や、健康福祉総合センターなどお金がかかってくる部分もありますので、そういった部分も含めてしっかりと書いていった方がいいと思っております。それを町民が見て、判断出来るような内容にしていったらどうかなと思っております。</p>
深澤課長	<p>1点目の「まちづくり」の部分ですが、こちらについては工夫させて頂きたいと思っております。</p> <p>また、先ほどの財政の部分でございますが、これから地方創生を作り上げていくわけでございますが、作るにあたっては2060年までの人口がどう動いていくのかを見込んだ地方人口ビジョン、国から提供されるビッグデータ、そういったものを利用して総合計画よりも絞った形の計画になると思っております。そうした中で町民の方々とどういったまちづくりをするかという話に必然的になって来ると思っておりますので、そういった中で丁寧な議論を重ねていきたいと思っております。</p>
鈴木(茂)委員	<p>今、どこの自治体も地方創生の計画を作るということで、コンサルタント業者が非常に忙しいとの話を聞きましたが、寒川町でも委託を考えているのですか。</p>

深澤課長	今年度の3月補正で予算を計上しており、これは満額国からの補助金となりますが、地方創生の計画を策定するにあたっては丸投げの委託は慎むようにと国からも言われております。では、具体的に何をするのかといいますと、分析になります。現状分析、現状把握をどうするかという部分で、色々な情報を取り纏めて寒川を分析しながら判断する材料をコンサルに作成してもらいます。その材料を使って、どうまちづくりをしていくか、行政を中心に町民の方にも参画して頂きながら考えて行くことになると思います。コンサルタントを入れますが、丸投げという事ではございません。そこについては独自性、町の特色を捉えている方とお話をしなければなりません。作成にあたっては、国からも産官学金労言、つまり産業、行政機関、学識経験者、地域金融機関、労働者、メディア関係の分野から意見を聞くようにとの話が来ております。そこには当然、公募の町民の方が入りますので、そこで十分に議論を重ねたいと思います。
鈴木(茂)委員	藤沢で町の計画を策定するのに2,000万円でコンサルタント業者に委託をしたが、市長が変わった事によりその計画が使用されなくなり、自分たちの手でより良い計画を作成したとの話を聞いたことがあり、今の質問をさせて貰った。公募の町民も入るといことで、是非町民を育てていくような形にして頂きたい。
深澤課長	町民の方が参加する組織は作りたいと考えております。先ほど申し上げたとおり、委託といっても丸投げする事は考えておりませんし、我々も策定するにあたっては覚悟とスピード感を持ってやらなければならないと思っております。今回の計画は現状の把握、問題点の洗い出しに力点を置かなければならないと思っております。寒川町の現状が首長が変わったからといって変わるわけではございませんので、そういったものを踏まえながら、寒川の強みを活かし、弱みを克服していけるような理論構成した計画になると考えております。先ほどの話の中にもありましたけど、国からの交付金についてはある程度限度がございます。しかし、将来に向けて、今やらなければならない課題がありますので、国からの交付金の範囲の中でやるという事ではございません。そういった中ではどこに選択と集中をかけていくのが重要になっていきますので、町民の方々と向き合って計画を作り上げていかなければならないと思っております。
飯田会長	総合計画は改革をしながら先取りをして行くのが大事であろうとの意見だと思う。この計画がしっかりしていないと、色々な部分がぼやけてしまう。「うるおい」や「優しさ」といった1つ1つが計画的に育っていくようなものが総合計画だと思う。
島村委員	話の中で調査分析が大事だとの話がありましたが、それは基礎情報になるので大変良いと思うのですが、地方創生を含めて寒川の活性化を考えると調査分析というのは出来るだけ短い期間にして頂いて、具体的な企画と行動をどんどん検討して頂きたい。寒川の商業を見ると非常に弱く、分析をすれば現状は直ぐに分かる訳ですが、出来れば最初の企画の段階から皆で検討することが大事だと思います。そういった事がこの中からは見えてこない。調査分析は大事ですが、そこに力点を置くのではなく、寒川にぎわいのある、活力のあるまちにして行くには企画とどう行動していくかという部分が町民、商業者或いは工業者に具体的に見えてこないと元気が出てこない。若い人が挑戦しようとしなない。現状の寒川を分析してしまうと逆に引っ込んでしまふかもしれないという気がするので、是非、一体となって白紙の段階から作り上げていくような町からのエネルギーを頂きたい。よろしく願います。
深澤課長	ご指摘のとおり、机の上だけで仕事をしていても外には見えてきません。そこについては、当然やるべき事はやるべき事として分析しますが、スピード感をもってやるためにも動きを見せていかなければならないと思っておりますので、地方創生も先行事業としてうっておりますのでスピード感をもって、動きを見せながら進めて行きたいと思っております。
飯田会長	他にご意見はありますか。

鈴木(茂)委員	<p>北口の整備なのですが、この3カ年で毎年2億円近くの金額が使われる訳ですが、私は平成26年で終了する様な認識でいたのですが、何故こんなにかかるのですか。</p> <p>それから、議場の音響システムに3,000万円使うようですが、これは必要なのですか。私はたまに傍聴に行きますが、もっと傍聴に来る人数を増やした方がいいのではないですか。</p> <p>3点目として、縦貫道が開通したことによりロボット産業特区の振興を図るという話がずっとあったと思うが、今回そういった事が無くなっているのが疑問に感じます。この3点について説明して下さい。</p>
青木主査	<p>まず1点目の寒川駅北口地区土地区画整理事業でございますが、こちら資料1の58ページになりますが、工事については平成27年度で100%完了の予定でございます。その後、主に精算事務として約2億円を見込んでおり、あくまでも工事ではなく精算となります。</p>
深澤課長	<p>2点目の議会の関係でございますが、こちらにつきましては議会の公開ということで、傍聴に来られる方は勿論、傍聴に来て頂いた方良いのですが、全員の方が傍聴に来られるわけではなく、お年寄りや身体が不自由な方といった中々傍聴に来られない方もいらっしゃいますので、インターネット等で中継される事により外出先でも見る事が可能になります。そういった事が開かれた議会、開かれた行政という事に繋がりますので、こういった整備を行うことで協働のまちづくり、協働するには情報共有が重要だと考えておりますのでこういった経費は必要であると考えております。また、かなり老朽化しており、いつ止まってもおかしくないような状況でございますので、ここについては是非とも改修させて頂きたいと考えております。</p> <p>3点目のロボットの関係につきましては、田端西地区まちづくりという事で、現在、地元の地権者の方々が準備会を立ち上げて議論を進めているところでございます。こちらについては、調整区域を市街化区域に編入して行く予定でございますが、そういった受け皿になることで産業を呼んでいきたいと思っております。具体的な動きとしては、事業協力者にも入って頂いており、そういった方々のノウハウを活用して実際に産業を呼ぶといった段階になれば目に見えてくると思われませんが、現段階では地権者の合意を得るという状況でございますので、見えずらいとは思いますが、時期が来れば積極的に出していきたいと考えております。</p>
島村委員	<p>寒川神社を利用した観光開発について、国から調査費を貰って3月末頃まで調査をすると聞いているのですが、商工会としても平成27年度の最重要事業と位置付けているのですが、その調査結果についての報告等はいつ頃になるのですか。</p>
深澤課長	<p>今年度、神社の東参道の関係については国から調査費を頂いて調査を行い、昨日その報告がコンサルより上がり、状況を確認したところでございます。これにつきましては、コンサルからの資料をそのまま使うのではなく、町としてどう分析するかという部分もございまして、分析が済み次第、協議の場にあげていきたいと考えております。時間的には新年度の4月から5月になってしまうとは思いますが、町としてどう捉えるかという部分について内部的にコンセンサスをとらなければなりませんので、若干お時間を頂きたいと思っております。</p>
島村委員	<p>それは町で方向性を決めてしまうのかですか。商工会やその他の団体の意見を反映して前向きに検討して貰えるのですか。</p>
深澤課長	<p>基本的に町が全て出来る事ではございません。そこには当然、町がやるべき事もあれば、商業者の方にやって頂かなければいけない部分も当然あります。やるためにはどれだけの経済効果があるのか分析しないと中々動き出しが出来ないという事もありますので、そこは情報共有しながら協議して決めていく材料になるものと考えております。ただ、こういった見方をしたのか、出た結果を鵜呑みにするのではなく、しっかり租借してからご説明したいと思っておりますが、町だけで決めるという事は考えておりません。</p>
島村委員	<p>先ほど申し上げた様に、調査分析が先行してしまうと、新しい頭で開発していこうとする創造性がなくなってしまう可能性がありますので、その辺については民間の方が長けていると思っておりますので是非活用して頂きたいと思っております。</p>



深澤課長	現状だったらどうなるかという事なので、そこに新しいエッセンスを入れたらどうなるのかという事については話は別だと思しますので、そこについては我々よりも民間の方がノウハウをお持ちだと思いますので、是非期待していきたいと思ひます。
飯田会長	神社の参道に国が予算をつける事は宗教上の関係からない訳で、町がどう観光客を誘導するかというまちづくりの中の道路づくりとすることによって国の補助金がつく。だから、町が計画を立てなければならない。道路の未来計画に対して商業者はどうして行くのか、そういったものは町と商工会との連携だと思う。観光客をどの様に誘導するのか、有事の際の避難場所はどこにするのか、そういった部分は町がやらなければならないという風に理解している。
深澤課長	総合計画の観光の振興の中に「長時間滞在周遊型の観光振興を図る」とあります。相模縦貫道も開通したこともあり、ここにおいて貰う目的を作る、賑わいを作る拠点をどうするのかという議論を進めていきますので、実際にそこには行政が行わなければならない役割、民間の方にやって頂きたい役割があり、それについては協議をしながら進めて行きたいと思っております。
飯田会長	他にありますか。
小栗委員	この計画の一番最初の部分には町民との協働によるまちづくりが出てきます。一丁目一番地なのかなという気もするのですが、その中に自治基本条例推進事業があり、この中にパブコメも含まれると思うのですが、現状パブコメを実施しても意見等は0件から2件程度しかない。どの課からあがってくる報告もその様な形で、それに対する職員の考えについても「仕方がない」という程度で、一応やりましたというようなイメージに感じる。今後も一丁目一番地でやっていく事に非常に疑問があつて、やり方を変えるとか、スクラップアンドビルドをすとかして、他の方法で町民の方の意見を貰うことを考えるとかした方が良いのではないかと。その部分についてどう考えているのか教えて頂きたい。
深澤課長	パブリックコメントですが、そろそろ10年経ちますが、ご指摘のとおりあがってくる意見は多くありません。我々のパブリックコメントのやり方についても、計画の分厚い冊子を置くのではなく、簡潔にまとめた概要版を作りながら、伝え方をしっかり考えなければならないと思っております。また、やり方についても一度検証しなければならない時期に来ていると考えている部分もあります。そういった中で今回、工夫をした点が自治会の回覧板で情報を流して頂く事によりもう少し周知が図られるのではないかと考えています。そういった多くの方々から意見を頂けるような制度にしていかなければならないと思っておりますので、担当の協働文化推進課には働き掛けて行きたいと思っております。
小栗委員	本当に考えて頂きたいと思うのと、仮に意見が上がったときの位置付け、町としてどの様に評価して行政の施策に反映させているのかという部分も非常に疑問を感じる。意見を頂いて、それを活かしているという話をあまり見たことがない。意見があまりないという事もあるのかもしれませんが。行政の施策に反映するために意見を聞いている訳で、それが全く活かされていないという位置付けになるとそれこそ意味が無く、だからこそ意見が少ないのではないかと逆の見方も出来ると思う。その辺についてもどういった扱いをするのか考えて頂きたい。
深澤課長	パブコメを実施したあと、それをどう反映させるかについては事務局で考えますが、計画を策定する時には策定組織がございしますので、その策定組織に報告しながら反映させていきます。しかし、計画がある程度固まってしまった段階でパブコメを実施しても後戻りできない場面というのでもございしますので、そういったかけるタイミングについても策定段階から参画して頂かないと参画になりませんので、粗い段階でパブコメにかけるという方法もあると思ひますので、パブコメのあり方、やり方については担当課の方に投げかけて行きたいと思ひます。
飯田会長	先日、広域行政に関する会議を寒川でやったと思うが、そういった会議には総合計画の担当職員が出席しているのか。
深澤課長	湘南広域都市行政協議会の会議がありました。その所管については我々、企画政策課になりますので、出席しています。
飯田会長	総合計画担当課としてはそういった情報収集を行っているのか。
深澤課長	我々がそこでの意見を受け止めて、それぞれ作業部会に入ってどの様な施策を打つか議論しております。

	飯田会長	情報収集はしているという事か。
	深澤課長	はい。
	飯田会長	藤沢が用田バイパスが開通した事によりその周辺が準工地域に用途変更することや、慶応大学周辺を医療区域に位置付けるといった情報も入っているのか。
	深澤課長	企画政策課としてはその情報は持っておりませんが、都市計画部門では情報交換しているのではないかと思います、この場で即答は出来ない状況でございます。
	飯田会長	総合計画を打ち出すにあたっては、先取りした情報が必要だと思う。今度、慶応大学まで相鉄いずみの線が延伸する、そこについては寒川町は把握しているのか。
	深澤課長	都市計画課のものが把握しています。
	飯田会長	平塚のツインシティの進捗状況についても把握しているのか。
	深澤課長	倉見拠点づくり課で把握しており、我々企画政策課の方にも話は下りてきております。
	飯田会長	総合計画に携わる事務局として色々な情報収集をして、先取りしていかないと計画は立てられないと思う。藤沢市は先取りをしている。そういう点について寒川町は改めて点検する必要があるのではないかと考えたので聞かせて貰った。 他に意見はありますか。
	佐藤(一) 職務代理	概要版ですが、中の数字等を抜粋したものではなく、先ほど話があった寒川の強み、弱みであるとか、この3年間で力を入れる部分、そういったものを入れていくべきだと思います。現状の概要版は本編を補完する目次的なものになっていると思います。どこでも作っていると思うのですが、A3用紙1枚で絵で表す様なものを絶対に作って下さい。行政で今一番弱いのは情報発信だと思います。その部分については力点を置いて表現して貰いたいと思います。
	深澤課長	伝える内容としては工夫が必要だと思います。今後どうなるのかという、先のビジョンを出した方が良いとのご意見でございますので、そこについては検討したいと思います。
	飯田会長	他にございますか。 その他になれば議題についてはこれで終結したいと思います。
<b>3 その他</b>		
	飯田会長	続きまして、4. その他でございますが事務局より何かありますか。
	深澤課長	本日は貴重なご意見・ご提言をいただき、誠にありがとうございました。本日頂きましたご意見等については、今後の事業の進行管理において、しっかり活かしていきたいと考えております。ありがとうございました。 また、先ほど担当から説明をさせていただきましたが、第2次実施計画については、計画期間の初年度でございます平成27年度の当初予算(案)について、先日町議会から議決をいただきましたので、最終的に今年度中の庁議により決定し、4月からスタートしていくこととなります。今後は、当計画の進行管理を行っていくこととなりますが、進行管理にあたっては、これまで委員の皆様から頂いたご意見やご提言等に留意しつつ、より有効的・効果的に事業が進捗するよう努めていきたいと考えております。 なお、実施計画が正式決定した後、「書」として製本をしていく予定でありますので、これまで計画策定にご尽力いただきました委員の皆様へ、後日製本した冊子をお送りさせていただきますので、是非ご納め頂ければと思います。よろしく願いいたします。
	飯田会長	最後に総合的に何かありますか。
	佐藤(清) 委員	2年間委員を務めさせて頂きまして、毎回緻密な資料で説明して頂きましてありがとうございました。町民の方に情報発信という点については我々県も同じでありまして、タイミングややり方に工夫が必要であると今日の議論を聞いて改めて感じました。 また、町としての情報収集という点につきましては、我々、県の役割も重要だと考えておりますので、近隣の地域、国の情報等も含めてこれからも必要な情報提供に努めて参りたいと思っております。

	飯田会長	<p>ただいま、事務局より事務連絡がありました。この件について何か確認事項等ございますでしょうか。</p> <p>その他、委員の皆様から何かあれば受け付けますが、いかがでしょうか。その他意見等がなければ、これで終結いたします。</p> <p>以上をもちまして本日の議題は終了いたしましたので、事務局へお返しいたします。</p>
<b>7 閉会</b>		
	石井部長	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日はお忙しいところ長時間にわたりまして、ご審議いただき、誠にありがとうございました。会長をはじめとする委員の皆様のご協力に感謝申し上げます。</p> <p>また、委員の皆様におかれましては、平成25年度からの2年間で、本日含めまして合計6回の審議を賜った訳でございますが、これまでそれぞれお忙しい中、貴重な時間を割いていただき、また、貴重なご意見ご提言をいただきましたこと心から御礼申し上げます。誠にありがとうございました。</p> <p>我々といたしましても、これまで頂きましたご意見等を真摯に受けとめ、今後の町の施策展開や事業執行にしっかり活かして参りたいと考えております。</p> <p>審議会委員としての任期はこれで終了となりますが、今後とも、様々な立場から町政運営に対しご協力をくださるようお願い申し上げます。</p> <p>任期満了に伴いまして、町長から御礼を申し上げるところでございますが、本日は公務により不在のため、町長に代わりまして副町長から御礼を申し上げたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p>
	木内副町長	<p>皆様、本日はありがとうございました。</p> <p>委嘱期間の2年間で満了するという事で、町長に代わりまして一言御礼申し上げます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、2年間という任期中で公私共にお忙しい中、総合計画審議会委員としてご尽力頂き大変ありがとうございました。本年度は特に2020プランの第2次実施計画の策定ということで、ご審議頂きありがとうございました。御陰様をもちまして、平成27年度から3年間の実施計画を策定することが出来ました。ご承知のとおり町を取り巻く環境は大きく変化しております。特に地方創生における総合戦略の策定ということで、総合計画との整合性という部分において今後、見直しも必要になってくるかと思っております。その際には皆様とご相談させて頂きながら必要な見直しを行いつつ、しっかりとしたまちづくりに努めて参りたいと考えております。</p> <p>2年間ご協力を賜りまして、本当にありがとうございました。</p>
	石井部長	<p>これを持ちまして総合計画審議会を閉会させていただきます。本日はありがとうございました。</p>
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次第</li> <li>・ 資料番号1 寒川町総合計画「さむかわ2020プラン」後期基本計画第2次実施計画(案)</li> <li>・ 資料番号2 体系図(案)</li> <li>・ 資料番号3 寒川町総合計画「さむかわ2020プラン」後期基本計画第2次実施計画概要版</li> </ul>	
議事録承認委員及び議事録確定年月日	<p style="text-align: center;">飯田 誠 会長</p> <p style="text-align: right;">(平成27年 4月15日確定)</p>	